

医療安全対策部

1. スタッフ（平成26年4月1日現在）

部長（医師）	◎長谷川 剛（専）
副部長（医師）	○市田 勝（兼）
看護師	○篠原 和子（兼）
看護師	◎寺山 美華（専）
看護師	◎野澤 博子（専）
教授	河野龍太郎（兼）
講師	鈴木 義彦（兼）
助教	浅田 義和（兼）
薬剤師	○泉 玲子（兼）
薬剤師	須藤 俊明（兼）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼）
事務	6名
	◎ 専任医療安全管理者
	○ 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策室の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い、平成17年4月からは部長が長谷川に交代となり、毎年更なる活動の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内での安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- 医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- 医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- 職員に対する教育（講演会、研修会の開催）
- 紛争事例への対応（経営管理課、医療福祉相談室

と連携)

●平成25年のおもな活動実績

(1) 医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全・感染対策講演会

・開催日 10月24日

10月30日

11月1日

演題 「人工呼吸管理安全対策チームより」

集中治療部 布宮 伸

演題 「輸血療法の安全性」

輸血・細胞移植部 室井 一男

岸野 光司

演題 「今、そこにある危機、結核」

感染症科 法月正太郎

参加者 1,482名

②医療安全対策講演会

・開催日 5月28日

演題 「医療安全とチーム医療」

医療安全対策部 長谷川 剛

参加者 1,411名

・開催日 9月27日

演題 「組織不祥事の失敗学」

警察大学校警察政策研究センター教授

樋口 晴彦

参加者 569名

③安全塾

・開催日 7月4日

課題 「安全のマークとマニュアルの再確認」

医療安全対策部 市田 勝

参加者 941名

・開催日 11月18日

課題 「個人とチームで取り組む具体的エラー対策」

メディカルシミュレーションセンター

河野龍太郎

参加者 789名

(2) 医療安全に関する主な検討会・勉強会

1月・AED研修会

- ・ヒューマンファクターアプローチアドバンスコース

2月・研修医研修会

- ・高カロリー輸液取り扱い説明会
- ・AED研修会

- 4月・新人職員オリエンテーション
 - ・新人研修医研修会
 - ・新人研修医シミュレーション研修
 - ・新人研修医演習
 - ・新人研修医CV研修会
 - ・新人看護師研修会
 - ・中途採用者・復職者対象講演会
- 6月・AED研修会
 - ・ベッド（離床センサー）勉強会
 - ・ペースメーカ勉強会（医師対象）
 - ・ペースメーカ勉強会（看護師対象）
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 7月・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 11月・AED研修会
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 12月・AED研修会

(3) 医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
点滴・採血等の演習
医療安全に関する講義
- ③新人看護師研修会
インスリン 輸液・シリンジポンプ
- ④エコー下中心静脈カテーテル挿入

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針（一部改正）
- ②リスクマネジメントマニュアル第3版

(5) あんぜん便り・安全情報

- ①手動式肺人工蘇生器の組み立て間違い
- ②輸液ポンプ等の流量と予定量の入力間違い
- ③2012年に提供した医療安全情報
- ④ベガキサートメシル酸塩使用時の血管炎
- ⑤持参薬を院内の処方に切り替える際の処方量間違い
- ⑥2006年から2011年に提供した医療安全情報
- ⑦膀胱留置カテーテルによる尿道損傷
- ⑧ベッド操作時のサイドレール等のすき間への挟み込み
- ⑨PTPシートの誤飲（第2報）
- ⑩脳脊髄液ドレナージ回路を開放する際の誤り
- ⑪誤った処方の不十分な確認
- ⑫移動時のドレーン・チューブ類の偶発的な抜去
- ⑬電動ベッドの安全管理II
- ⑭酸素ボンベの取り扱いについて
- ⑮人工鼻（サーモバントT）使用下での酸素療法時の注意点

(6) J-CIP(インシデント・アクシデント報告システム)

- ①「研修管理」の利用・改修
- ②e-ラーニング「楽々てすと君」の利用・改修
- ③事象分析システムの内容改修

(7) 検討、改善事項等

- ①コメディカルの吸引実施
- ②体外式ペースメーカについて
- ③病理検体が不明になった事例
- ④処置時における循環状態確認不足の事例
- ⑤計画外抜管事例について

(8) 医療安全対策委員会（委員20名）

毎月1回 第2火曜日

(9) リスクマネージャー会議

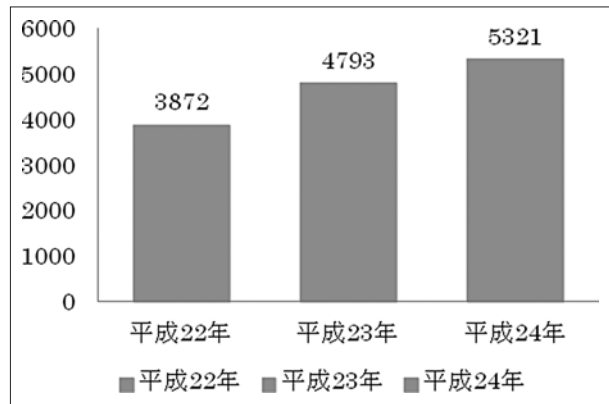
隔月1回 第3木曜日

(10) モーニングカンファレンス

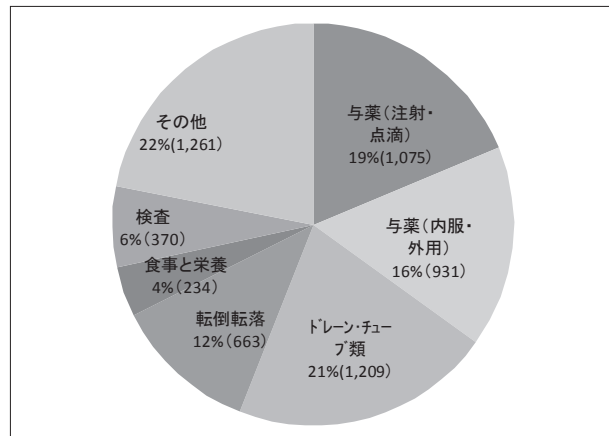
毎週水曜日

(11) インシデント・アクシデントレポート

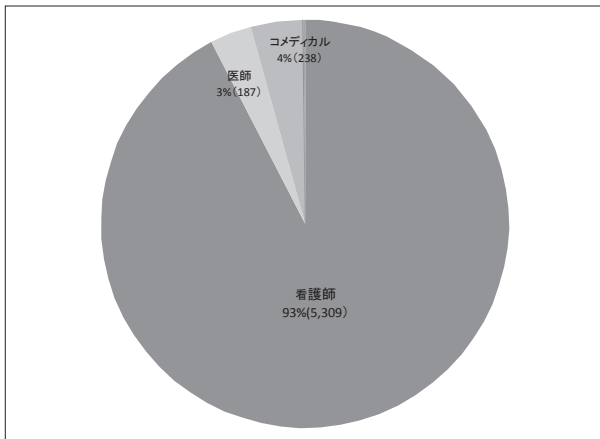
- ①報告件数比較
(平成22年～24年)



②平成24年 種類別報告一覧



③平成24年 職種別報告一覧



(12) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(13) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. その他・来年の目標

従来の業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- (1) e-ラーニングを取り入れた教育
- (2) 医療コンフリクト・マネジメントの普及
- (3) ヒューマンファクターズアプローチの普及
- (4) 医療の質向上のための情報収集と情報還元の制度作り
- (5) 医療の質向上のための体制整備
- (6) マニュアルの整備と管理の検討
- (7) 5 S活動の推進

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。